

〒145-0031 東京都品川区西五反田3-2-13

目黒さつきビル3階

TEL 03-6303-9134 FAX 5487-7844

Eメール jrroukairou@yahoo.co.jp

J R 東海労働組合

発行人 小林 光昭

編集人 高山 浩

2017年
12月1日
第393号

JR東海労

http://www.geocities.jp/jrtoukairou/

年休失効解消！要員確保！

「年休裁判」東西で同時提訴！



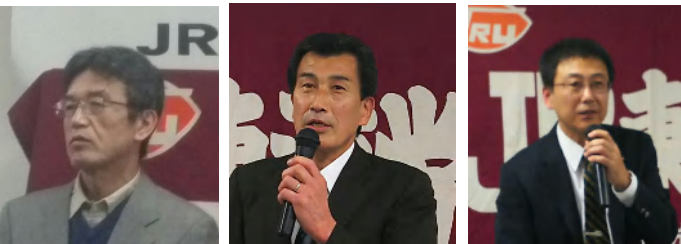
11月28日、東京第二運輸分会西村隆行さん、東京第一運輸分会木下和樹さんは東京地方裁判所に、大阪第二運輸分会大谷川公明さんは大阪地方裁判所に、それぞれ損害賠償請求訴訟（通称「年休裁判」）を提起しました。

この裁判は、年休を失効した、または年休を申し込んだにもかかわらず、年休を付与されなかったことに対する損失を会社に求めたもので、年休失効の解消と時季変更権の濫用の中止、そして適正要員の確保を目的に闘います。JR東海では、多くの社員が年休を失効しました。今裁判に決起した3名は、年休を失効した全社員を代表しての闘いです。

労働基準法第39条は、使用者は労働者に年次有給休暇を付与しなければならないことを義務付けています。会社は「業務に支障がある場合は時季変更することができ」という但し書きを悪用し、時季変更権を濫用してきました。要員が不足している場合は、使用者には要員確保の義務があり、これを怠ると違法行為に該当します。



記者会見の様子



原告の3名（左から大谷川さん、西村さん、木下さん）

同日、東京と大阪で、「年休裁判勝利！総決起集会」を開催し、多くの組合員・OBが結集しました。集会で、原告となつた3名からは、JR東海のみならず、全ての企業で年休失効された労働者のためにも、先頭で闘うことが決意表明されました。

平和の闘い・職場の闘いを強化しよう！ 2017年度組合員セミナー開催

本部は11月18、19日、名古屋市内で2017年度組合員セミナーを開催しました。セミナーには、65名の組合員が参加しました。

主催者挨拶で小林委員長は「平和を守るため、講演で学んだ事柄を実践に活かそう。年休問題を中心とした職場課題をしっかりと闘おう」と訴えました。

初日は、『新聞うずみ



火』矢野宏代表より、「どうなる？ 総選挙後の日本」と題する平和の課題についての講演を受けました。矢野代表は、衆議院選挙の分析をはじめ、国内外の政治情勢、安倍政権とナチスドイツが進めてきた戦略の類似性や憲法9条改憲の目的など、多岐にわたって話されました。そして最後に、「改憲阻止に向け、国民投票では多くの人たちに改憲に反対する世論をつくるために、自分の言葉で話せるように人間力を高めよう」と訴えました。

続いて、新幹線関西地本畑野書記長より中国平和研修の報告を受けました。畑野書記長は「20年間で、述べ319名の参加者があった。多くの連帯・友好の絆をつくり出した」と、成果を打ち出しました。

翌日は、木下書記長と柳楽法対部長が、年休失効問題を中心とした職場の課題について問題提起を行いました。その後、全体討論を行い、活発な発言が相次ぎました。そして、平和の闘い、職場からの闘いを強化することが全体で確認されました。

最後に、木下書記長のまとめ、小林委員長の団結ガンハローでセミナーを終了しました。



年末手当3.0ヶ月回答 再申し入れのうえ妥結

本部は11月20日、会社に年末手当の妥結を通告しました。
本部は10月5日、『申第17号』で年末手当3.5ヶ月、組合員が納得しない年末手当のカットをやめることをなどを要求

11月8日の第3回団体交渉で、会社から3ヶ月分の回答がありました。

本部は持ち帰り検討し、要求とかけ離れた回答であることから、『申第23号』として再申し入れを行いました。
再申し入れに対する団体交渉が11月14日開催されましたが、会社は組合員の切実な要求を無視する態度に終始しました。本部は、再度持ち帰り検討し、第6回執行委員会で、これ以上の前進はないと判断し、妥結を確認しました。

全組合員が勝利の喜び 静岡掲示物不当撤去最高裁勝利集会

静岡地本は11月20日、静岡市内で静岡掲示物不当撤去裁判完全勝利集会を開催しました。この集



会は、10月開催を予定していましたが、台風のためこの日に延期となりました。集会には、本部・各地本からも駆けつけ、勝利の喜びを共有しました。
主催者挨拶で植松委員長は「この闘いは、不当なボーナスカットを許さない闘いの一貫として、各地本と連帯することから始めた。地労委の闘いでは、夜遅くまで新幹線



関西地本の仲間と共に証人審問の打合せなどを行った。東京高裁から苦情処理会議の実態の調査を求められ、全地本で苦情処理会議の形骸化となる証拠書類を集めた。まさに、全地本の闘いによって勝利した。共に闘った皆さんに、改めて感謝する」と述べました。
集会終了後は、懇親会で勝利の美酒を堪能しました。

国は崩れたスキームの是正を!

JR総連がシンポジウム開催

JR総連主催の「国鉄改革30年! 鉄道の未来」シンポジウムが11月23日、都



内で開催されました。シンポジウムには、JR総連全単組が参加したほか、多くの国会議員・秘書が出席されました。
榎本委員長は、主催者挨拶で「JR北海道の経営問題の原因は、国鉄改革のスキームが崩れたため。国は低金利・ゼロ金利政策を進め、何ら対策を講じなかった。国からのリニアへの3兆円融資はあってはならない」と述べました。

JR北海道労組より「私たちの意思を国民の声へ!」「崩れた基本計画の是正と運用益の確保策」を求めるたたかいと

題した発表が、パワーポイントで報告されました。続いて、パネルディスカッションが行われ、議員、新聞社、労組代表がパネラーとして北海道などの鉄道をいかに守るかの意見・提言が出されました。
最後に、柳書記長のまとめでシンポジウムが終了しました。

JR東海労から役員4名選出

JR総連東海地協第28回定期委員会

JR総連東海地協第28回定期委員会が11月9



日、名古屋市・全労済愛知県本部会館「アピタン」で開催されました。2017年度役員に、JR東海労から以下の役員が選出されました。

- 副議長…山田哲也(名古屋地本)、植松昌彦(静岡地本)／常任委員…越坂武(名古屋地本)／会計監査員…鈴木一幸(名古屋地本)

なお、常任委員の田川裕之さん(新幹線関西地本)は退任されました。

憲法9条改悪反対! 国会包囲大行動に参加



「安倍9条改憲NO! 全国市民アクション実行委員会」と「戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会」が共

催する「11・3国会包囲大行動」が11月3日開催され、全国から4万人の市民・労働者が国会前に結集しました。JR東海

労はJR総連の仲間と共に、新幹線地本組合員・OBが積極的に参加しました。

大行動には、主な野党の国会議員、知識人のほか、ピースボートの共同代表でノーベル平和賞を受賞したICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)

の国際運営委員でもある川崎哲さんも参加し、核兵器廃絶と憲法9条の遵守を訴えました。
結集した市民・労働者は、安倍政権が進める憲法9条改悪反対・戦争反対の声を、高々とあげました。